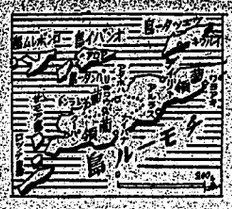
夕刊 臺灣昌新報 二月二十日

チモール島敵前上陸敢行

クーパン、デリー方面
今曉陸海軍緊密協同
英蘭軍驅逐、自衛措置



【東京發同盟至急報】大本營發表（二十日午後一時）帝國陸海軍部隊は緊密なる協同の下に二月二十日未明チモール島クーパン及びデリー方面に敵前上陸を敢行せり

【東京發同盟】昭南占領方作戰の進展に伴ひ今曉ポルトガル領チモール島にある英蘭軍兵力を驅逐するやむなきに至つたので政府は二十日の閣議席上東郷外相より關係チモール島ポルトガル領チモール島の現狀並に帝國の措置に關し說明今回の同島作戰が全く自衛上やむを得ざるものなることを說明するとともに英蘭兩國が從來ポルトガル領チモールに對する我が方の數次に亘る嚴重なる警告を無視し同島の中立の嚴正なる維持を怠りポルトガル國に對して何等他意なきことを說明して來たにも拘らず同領に侵入しこれを占據するの措置に出でたり、而も英ポルトガル兩國間に撤兵方の交涉開始せられポルトガル政府は事態改善の爲め努力したる模樣なるも事態は何等變更を見ずして今日に至れるところ今般蘭領チモールに對する我が方の作戰の進展に伴ひ自衛上帝國軍はポルトガル領チモールにある英蘭軍兵力を驅逐するの必要に迫られるに至れり英蘭兩國の國際信義を無視せる行爲の爲め多大の迷惑を受くるに至りたるポルトガル國の立場は帝國の十分諒とするところにして帝國政府が中立の態度を維持する限り自衛上の目的達成の上は速かに兵力を撤收せんとするものにして帝國はポルトガル國政府がこの點に關し何等他意なきことを茲に聞明す

【情報局發表】今般帝國軍の作戰がポルトガル領チモールに及ぶの止むを得ざるに至つたので、帝國政府は本二十日附を以て左の如き聲明を發表した

帝國政府聲明　客年十二月十七日英蘭兩國軍はポルトガル領チモール總督の拒否に拘はらず同領に侵入し、これを占據するの措置に出でたり、而來英ポルトガル兩國間に撤兵方の交涉開始せられポルトガル政府は事態改善の爲め努力したる模樣なるも事態は何等變更を見ずして今日に至れるところ今般蘭領チモールに對する我が方の作戰の進展に伴ひ帝國軍はポルトガル領チモールにある英蘭軍兵力を驅逐するの必要に迫られるに至れり英蘭兩國の國際信義を無視せる行爲の爲め多大の迷惑を受くるに至りたるポルトガル國の立場は帝國の十分諒とするところにして帝國政府が中立の態度を維持する限り自衛上の目的達成の上は速かに兵力を撤收せんとするものにして帝國はポルトガル國政府がこの點に關し何等他意なきことを茲に聞明す

【東京發同盟至急報】大本營發表（一月二十日午前十一時五十分）スマトラ、ジャヴア方面を制壓中の帝國陸軍航空部隊は昨十九日西部ジャヴアバイテンゾルグ飛行場（バタビヤ南方）を强襲し米蘭敵機二十七機を撃墜破せり、われに損害なし

陸鷲バイテンゾルグ强襲
米蘭機廿七を擊墜破

重慶軍を矢面に
老獪な英の殘酷

【重慶十九日發同盟】蔣介石の最近の動向に關しては英國の對重慶策が重慶軍を矢面に立たせ英國は後方に在つて援助するに過ぎないとの觀測が一般に行はれてゐるが英國は重慶軍の援助に關しては從來ビルマ公路の開通、ビルマ軍と重慶軍との緊密なる協力、ビルマ軍の訓練等に關し重慶軍と緊密なる關係を保持し來つたものであるが最近に於ては重慶軍の援助に關し英國は從來の關係を一層緊密ならしめ重慶軍の援助に關しては

待望の四十萬に今一歩

島都・昨年末現在人口卅六萬七千餘

國策に副つた嬉しい現象

現在の總人口は何人だらうか、また果してここ一年間にどれ位殖えたか――臺北市では最近の國勢調査の下に總督府の戸口調査中のところ、二十日朝迄に米上つたそれによると昭和十六年末現在の戸數は七萬七千四百十八戸で、人口は三十六萬七千三百二十三人であり、これを昭和十五年末現在に比較すれば戸數において二千三百四十九戸、人口において一萬一千九百十九人の增加を示してをり、こゝ一年間には特殊の人口四千餘の增加となるであらう。尚臺北の總人口の本島に於ける地位が如何に重要であるかは、大稻埕の戸口が一萬七千餘、艋舺が一萬二千餘、大正が一萬一千餘、城内が一萬餘、古亭が七千餘、松山が五千餘、内湖が三千餘、木柵が二千餘、南港が千餘、士林が千餘、北投が千餘、錫口が千餘、景尾が千餘、深坑が千餘、石碇が千餘、土城が千餘、三峽が千餘、鶯歌が千餘、樹林が千餘、海山が千餘、中和が千餘、新莊が千餘、五股が千餘、泰山が千餘、林口が千餘、蘆洲が千餘、三重埔が千餘、八里が千餘、淡水が千餘、金包里が千餘、三芝が千餘、石門が千餘、合計が千餘、總人口の約一割を占めてゐる點からも窺ひ知られる。

内地人　男一萬二千九百九十人　女一萬一千二百二十八人　計二萬四千二百十八人
本島人　男十萬二千三百五十人　女九萬三千四百十三人　計十九萬五千七百六十三人
朝鮮人　男一千二百十人　女一千二百十人　計二千四百二十人
中國人　男一千二百十人　女一千二百十人　計二千四百二十人
其他外國人　男二百十人　女二百十人　計四百二十人
合計　男十四萬七千百九十人　女十萬八千三百二十六人　計二十五萬五千五百十六人

（内地人一萬六千三百四十八人中男八千二百十人、女八千百三十八人、本島人四萬七千三百八十六人中男二萬三千六百八十五人、女二萬三千七百一人、朝鮮人六十六人中男三十八人、女二十八人、中國人二十六人中男十三人、女十三人、其他外國人十六人中男十人、女六人）

一身を拋つて來た"

陸軍省嘱託　砂田氏寄臺して語る

大東亞戰爭の開始以來、一億國民總動員の一役として軍部關係に貢獻し來つた、臺灣出身の陸軍省嘱託砂田氏は、今回の大東亞戰爭に際會しては、これまでの經驗に鑑み、一身を拋つて戰場に赴き、直接第一線に於ける軍部の活動に協力したいとの强い念願から、去る十日、陸軍省の嘱託を辭して、十一日午後一時の特急「富士」で臺北に向つて出發した。

砂田氏は、昭和十年、陸軍省の嘱託となつて以來、主として軍部關係の調査に從事し、その間、昭和十二年には、北支事變勃發と同時に、軍部の要請により、北支戰線に赴いて、軍部關係の調査に從事し、また、昭和十四年には、ノモンハン事件の際、軍部の要請により、ハイラル方面に赴いて、軍部關係の調査に從事した。

砂田氏は、今回の大東亞戰爭の開始に當つて、かくて臨戰體制の强化に際會しては、軍部關係の一役を買つて出ることこそ、自分の最も本懷とするところであるとの强い信念から、陸軍省の嘱託を辭して、一身を拋つて戰場に赴くことになつたのである。

砂田氏は、臺北市出身で、臺北中學校を經て、明治大學を卒業した。

陷落直後の昭南島

荷物纏めて處分待つ英兵

笑止！"俺達はなすべき事はなした"

【東京發同盟】駐日ポルトガル大使館附武官ポルトガル陸軍大佐ジンガポール陷落直後の昭南島を訪問し、帰國の途に就いたが、十九日午後四時半羽田飛行場に到着した。同大佐は、一路東京への路を急ぎ、十九日午後四時半羽田飛行場に到着した。同大佐は、一路東京への路を急ぎ、十九日午後四時半羽田飛行場に到着した。

【昭南島發同盟】駐日ポルトガル大使館附武官ポルトガル陸軍大佐ジンガポール陷落直後の昭南島を訪問し、帰國の途に就いたが、十九日午後四時半羽田飛行場に到着した。

昭南島を空から見た感じの印象は「美しい島」の一言で盡きました、島の大部分は椰子樹の茂つた平地で、ところ〴〵に丘陵があり、その丘陵の頂上に英國人の邸宅が建つてゐます、市街地は島の南端に位置してゐますが、市街地の中央には高層建築物が立ち並んでゐます、ラッフルス銅像、支那人街、植物園、ゴム園、甘蔗畑、椰子樹の三民族の混合した人種構成を見ましたがこれが英國植民地の特色でせう、

十九日午前十時頃飛行場へ行く時の人、街頭には英國人の姿は殆んど見ず、大部分は支那人とマレー人でした、英國人は殆んど全部が捕虜となつてゐるのでせう、

泥と汗の上に

集中砲火を浴

昭南島を空から見た感じの印象は「美しい島」の一言で盡きました、島の大部分は椰子樹の茂つた平地で、ところ〴〵に丘陵があり、その丘陵の頂上に英國人の邸宅が建つてゐます、市街地は島の南端に位置してゐますが、市街地の中央には高層建築物が立ち並んでゐます、ラッフルス銅像、支那人街、植物園、ゴム園、甘蔗畑、椰子樹の三民族の混合した人種構成を見ましたがこれが英國植民地の特色でせう、

十九日午前十時頃飛行場へ行く時の人、街頭には英國人の姿は殆んど見ず、大部分は支那人とマレー人でした、英國人は殆んど全部が捕虜となつてゐるのでせう、

泥と汗の上に

集中砲火を浴

戰歿將兵慰靈祭

○○部隊本部で嚴修

【印度洋方面】マレー地區以來シンガポール攻略に當り戰歿した○○部隊の將兵の慰靈祭は、十九日午後二時から○○部隊本部に於て嚴修された。

波邊軍屬南方戰線で戰死

【印度洋方面】昨年七月マレー地區以來シンガポール攻略に當り戰歿した○○部隊の將兵の慰靈祭は、十九日午後二時から○○部隊本部に於て嚴修された。

建設部隊の活躍

北ボルネオ、ミリ油田新油井掘一竪進

皇軍獨特の妙技

落下傘部隊の歷史と組織

【東京發同盟】開戰以來二ヶ月一體に大成果を以て世界を驚倒させ來つた大本營の陸海兩軍に亘る落下傘部隊の活用ぶりの詳細は今回初めて發表された。

落下傘部隊の發達

落下傘部隊の發達は、歐洲大戰當時、偵察機のキュヌメール中尉が敵地上空の偵察に際し、落下傘を使用したのが最初であるといはれてゐるが、その後、ドイツ、ソ聯、英、米、佛の諸國でも多數の落下傘部隊を編成するに至つた。しかして落下傘部隊の利用は最初は偵察を主とするものであつたが、ソ、伊等各國に於いて實戰に應用され來つてゐるが、ドイツに於いては本國の研究と各國に於ける實戰經驗の妙技が加へられ、これが單なる空挺作戰といふ範疇を脫して、空の陸戰とも稱すべき獨特の戰法にまで發展してゐる。

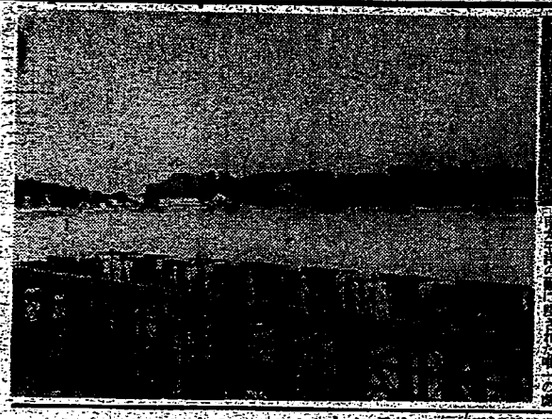
ドイツの落下傘部隊

ドイツの落下傘部隊は、一九三五年の第一回ナチス黨大會の際、ゲーリング元帥の指揮の下に、ベルリン郊外テンペルホーフ飛行場に於いて、落下傘降下の模範演技を行つたのを以て嚆矢とするが、その後、ドイツ空軍の發展と共に、落下傘部隊も著しく擴充され、その後、數次に亘つて實戰に參加し、赫々たる武勳を樹立してゐる。

ドイツの落下傘部隊は、一九三九年九月のポーランド戰役に於いて、その威力を發揮したのを皮切りに、一九四〇年四月のデンマーク、ノルウェー、オランダ、ベルギー、フランス

臺灣新報
日本共同夕刊紙
(第二種)(明治卅一年五月九日第三種郵便物認可) 昭和十七年十二月十一日(土曜日) 臺灣新報社 第一萬五千七十二號 (一)

擊攻大土本洲濠鷲海



ポートダーウインを襲ひ 敵航空兵力艦船覆滅

更に陸上軍事施設大半爆破

(東京發同盟至急報)大本營發表(二十日午後四時三十分)帝國海軍航空部隊は二月十九日濠洲本土北岸敵最大の海空軍基地ポートダーウインに對し大擧大攻撃を敢行し所在敵航空兵力並に在港敵艦艇船舶を覆滅し更に陸上重要軍事施設の大半を爆破せり戰果左の通り

一、撃墜破機、所在敵機全部(二十六機)

二、撃沈艦艇船舶、六千噸級特設巡洋艦一、驅逐艦二、驅潜艇一、輸送船九、驅逐艦一、(大破)

三、燬破又は炎上せる陸上施設、棗西兩飛行場格納庫全部(三棟)兵舍(二棟)海軍司令部、官廳商、棧橋

本攻撃においてわが方二機を失へり

【註】同港在泊中の病院船には攻撃を加へず

濠空軍當局、被害甚大を發表

【ベルン(スイス)十九日發同盟】ポートダーウインに初空襲を行つた、右に關し濠洲當局は同日次の如く發表した

日本軍航空部隊は十九日ポート・ダーウインに對し一時間に亙り爆撃を繰り返し同港内の船舶、埠頭施設、飛行場、兵舍等に多大の損害を與へた

濠洲北部樞要の 敵海空軍根據地

敵性濠洲の門戸 昭南島に次ぐ軍事據點

【東京發同盟】ポートダーウインは濠洲北岸に於ける最大の海空軍根據地で濠洲本土とチモール、ジャワ、スマトラ、ボルネオ、ニューギニア、ビスマルク諸島、ソロモン諸島等を結ぶ線の中間點にあり小スンダ列島中の東部諸島の北三百四十浬ニューギニヤの西南四百三十浬の地點にある、面積は凡そ六百六十二平方粁、人口約七千、氣候は熱帶氣候に屬し雨季は十一月より三月迄で乾季は四月より十月迄である、現在の處は昨年十二月十七日爆撃を受けた際殆んどの住民は避難し僅かに軍關係者と土人數百名を殘すのみである、港内には二列の突堤山脈が南北に走り、最高地點エルメラ山は二千六百六十米に達し火山も亦この邊に連つてゐる、高地は熱帶性森林地帶で低地は高原で農業が多い、住民のうち主なるものはアラフラヤ、マレー族が主である

【ロンドン十九日發同盟】ポートダーウインは濠洲北岸ティモール海に面し人口約二千五百、濠洲内地の主要都市ダーウインとアデレード、メルボルン、シドニーとを結ぶ鐵道の終點で、ダーウインは濠洲内地と外國との連絡港として重要な地位を占めてゐる

【ロンドン十九日發同盟】ポートダーウインは濠洲北岸に於ける最大の海軍根據地で濠洲本土とチモール、ジャワ、スマトラ、ボルネオ、ニューギニア、ビスマルク諸島、ソロモン諸島等を結ぶ線の中間點にあり、ポート

地方長官會議日程

總選擧對策徹底に重點

【東京發同盟】大政翼贊會總務中央協力會議に於ける左の如し

二十五日（第一日）開會、午後一時三十分開會（一）翼贊會側より中央協力會議に關する經過報告（二）翼贊會總務會（三）翼贊會總務會（四）大政翼贊會東京協議會

二十六日（第二日）午後一時三十分開會（一）翼贊會側より中央協力會議に關する經過報告（二）翼贊會總務會（三）翼贊會總務會（四）大政翼贊會東京協議會

二十七日（第三日）午後一時三十分開會（一）翼贊會側より中央協力會議に關する經過報告（二）翼贊會總務會（三）翼贊會總務會（四）大政翼贊會東京協議會

二十八日（第四日）午後一時三十分開會（一）翼贊會側より中央協力會議に關する經過報告（二）翼贊會總務會（三）翼贊會總務會（四）大政翼贊會東京協議會

二十九日（第五日）午後一時三十分開會（一）翼贊會側より中央協力會議に關する經過報告（二）翼贊會總務會（三）翼贊會總務會（四）大政翼贊會東京協議會

三十日（第六日）午後一時三十分開會（一）翼贊會側より中央協力會議に關する經過報告（二）翼贊會總務會（三）翼贊會總務會（四）大政翼贊會東京協議會

三十一日（第七日）午後一時三十分開會（一）翼贊會側より中央協力會議に關する經過報告（二）翼贊會總務會（三）翼贊會總務會（四）大政翼贊會東京協議會

各地方長官に午餐の御陪食

大戰下初の奏上御聽取

【東京發同盟】大東亞戰爭下、天皇陛下には來る二月二日の地方長官會議に參集の各地方長官に對し午餐の御陪食を仰付けられることになつた

岸、井野兩相立候補

翼贊議會態勢確立へ

【東京發同盟】翼贊會は今春の總選擧を期して翼贊陣營の總力を擧げ大政翼贊會の指導の下に翼贊會の組織の强化を圖り翼贊會の組織の强化を圖り翼贊會の組織の强化を圖り

陥落寸前・無念や敵弾

天皇陛下萬歳"を叫びつつ昏倒

酒向隊長・新嘉坡戰線に散る

【陸軍報道部二十日發表】昨二月十五日、英軍が全面的に降伏するに至つてマレー半島及びシンガポール島に對する我が攻撃作戰は終了したが、この攻撃作戰に參加して、シンガポール攻略の第一線に活躍し、シンガポール陥落の一日前、即ち二月十四日、シンガポール市内に突入直前、敵の最後の抵抗を排除しつつ、名譽の戰死を遂げた酒向部隊長の勇戰奮闘の概要は次の如くである

酒向部隊は、昨年十二月八日、マレー半島北部コタバルに敵前上陸を敢行するや、破竹の勢ひを以て南下し、クアラルンプール攻略戰に參加し、更に一月末、ジョホールバルに進出するや、同地に於ける敵の抵抗を排除しつつ、二月八日、シンガポール島に渡り、同島の攻略に當つた

酒向部隊長は、シンガポール島に渡つてからも、常に第一線に在つて、部隊を指揮し、十日夜、ブキテマ高地の敵陣地を突破するや、十一日夜、ブキテマ高地の東南端に位置するフォード自動車工場に、十二日夜、ブキテマ高地の西南端に位置するブキテマ・ヒル・スクールに、夫々部隊本部を進めた

十三日夜、部隊本部がブキテマ・ヒル・スクールに進出するや、敵は、同地の東南端に位置するフォード自動車工場に對し、猛烈な砲撃を加へて來たが、隊長は、この敵の砲撃下、部隊本部を指揮して、フォード自動車工場に進出した

十四日朝、隊長は、部隊本部を出でて、フォード自動車工場の東南方約二百米の地點に進出し、同地點から、敵情を偵察してゐたが、午前八時頃、敵の迫撃砲彈一發が、隊長の頭部に命中し、隊長は、名譽の戰死を遂げた

隊長戰死の報に接するや、部隊將兵は、悲憤の涙を呑んで、敵陣地に突入し、遂に、シンガポール島の敵を全滅せしめた

隊長の遺骸は、十四日夜、フォード自動車工場の東南方約二百米の地點に、埋葬された

酒向部隊長は、陸軍士官學校第三十四期の出身で、昭和十年、歩兵少佐に進級、同十二年、歩兵中佐に進級、同十五年、歩兵大佐に進級、同年、歩兵第百十四聯隊長に補せられ、昨年十二月八日、マレー半島北部コタバルに敵前上陸を敢行するや、破竹の勢ひを以て南下し、クアラルンプール攻略戰に參加し、更に一月末、ジョホールバルに進出するや、同地に於ける敵の抵抗を排除しつつ、二月八日、シンガポール島に渡り、同島の攻略に當つた

酒向部隊長は、シンガポール島に渡つてからも、常に第一線に在つて、部隊を指揮し、十日夜、ブキテマ高地の敵陣地を突破するや、十一日夜、ブキテマ高地の東南端に位置するフォード自動車工場に、十二日夜、ブキテマ高地の西南端に位置するブキテマ・ヒル・スクールに、夫々部隊本部を進めた

十三日夜、部隊本部がブキテマ・ヒル・スクールに進出するや、敵は、同地の東南端に位置するフォード自動車工場に對し、猛烈な砲撃を加へて來たが、隊長は、この敵の砲撃下、部隊本部を指揮して、フォード自動車工場に進出した

十四日朝、隊長は、部隊本部を出でて、フォード自動車工場の東南方約二百米の地點に進出し、同地點から、敵情を偵察してゐたが、午前八時頃、敵の迫撃砲彈一發が、隊長の頭部に命中し、隊長は、名譽の戰死を遂げた

部下は三人、五人と續れてゆく、二時間位に、數人になり、ついに最後の數名と部下を督戰しながら敵陣へ突進してゆく一歩前に、敵の機關銃彈に倒れた、時より少し前に同少尉が「隊長殿」と絶叫しつつ敵陣に駆けこつかりしろと叫んだ時は既に隊長の戰死を確認した時は既に隊長の戰死を終つた後であつた

遺骨に對面

午前十時から日比谷公會堂で官民多數參列の下に酒向部隊長の國葬が擧行されたが、午前九時から、同公會堂で、酒向部隊長の遺骨に對面する遺族は、次の通りである

酒向部隊長の遺骨は、午前十時、靈柩車で、酒向邸を出發、午後一時から日比谷公會堂で擧行される國葬式に參列する

遺族

妻　酒向ヒサ
長男　酒向勝彦
次男　酒向勇
三男　酒向正
長女　酒向ヨシ子
次女　酒向ミヨ子
三女　酒向ミチ子
四女　酒向ユキ子
五女　酒向ハル子
六女　酒向ミツ子
七女　酒向ミサ子
八女　酒向ミヤ子
九女　酒向ミヨ子
十女　酒向ミエ子
十一女　酒向ミユキ子
十二女　酒向ミワ子
十三女　酒向ミカ子
十四女　酒向ミナ子
十五女　酒向ミネ子
十六女　酒向ミヒロ子
十七女　酒向ミヤエ子
十八女　酒向ミヨシ子
十九女　酒向ミヒサ子
二十女　酒向ミヒデ子
二十一女　酒向ミヒカ子
二十二女　酒向ミヒロ子
二十三女　酒向ミヒナ子
二十四女　酒向ミヒヤ子
二十五女　酒向ミヒヨ子
二十六女　酒向ミヒエ子
二十七女　酒向ミヒユキ子
二十八女　酒向ミヒワ子
二十九女　酒向ミヒカ子
三十女　酒向ミヒミ子
三十一女　酒向ミヒネ子
三十二女　酒向ミヒヒ子
三十三女　酒向ミヒフ子
三十四女　酒向ミヒヘ子
三十五女　酒向ミヒホ子
三十六女　酒向ミヒマ子
三十七女　酒向ミヒム子
三十八女　酒向ミヒメ子
三十九女　酒向ミヒモ子
四十女　酒向ミヒヤ子
四十一女　酒向ミヒユ子
四十二女　酒向ミヒヨ子
四十三女　酒向ミヒラ子
四十四女　酒向ミヒリ子
四十五女　酒向ミヒル子
四十六女　酒向ミヒレ子
四十七女　酒向ミヒロ子
四十八女　酒向ミヒワ子
四十九女　酒向ミヒヲ子
五十女　酒向ミヒン子

弔電

酒向部隊長の國葬に當り、左の弔電が到着した

東條首相、嶋田海相、寺内南方軍總司令官、今村第十六軍司令官、山下第二十五軍司令官、杉山參謀總長、永野軍令部總長、畑陸軍大將、小磯國昭、南次郎、荒木貞夫、林銑十郎、阿部信行、米内光政、近衛文麿、廣田弘毅、平沼騏一郎、若槻禮次郎、岡田啓介、鈴木貫太郎、東久邇宮稔彦王、朝香宮鳩彦王、竹田宮恒德王、閑院宮載仁親王、伏見宮博恭王、久邇宮朝融王、賀陽宮恒憲王、梨本宮守正王、北白川宮永久王、山階宮武彦王、李王垠、李鍵公、閑院宮春仁王、久邇宮邦彦王、朝香宮鳩彦王、東久邇宮稔彦王、竹田宮恒德王、北白川宮永久王、賀陽宮恒憲王、梨本宮守正王、山階宮武彦王、李王垠、李鍵公、閑院宮春仁王、久邇宮邦彦王、朝香宮鳩彦王、東久邇宮稔彦王、竹田宮恒德王、北白川宮永久王、賀陽宮恒憲王、梨本宮守正王、山階宮武彦王、李王垠、李鍵公

供花

酒向部隊長の國葬に當り、左の供花があつた

東條首相、嶋田海相、寺内南方軍總司令官、今村第十六軍司令官、山下第二十五軍司令官、杉山參謀總長、永野軍令部總長、畑陸軍大將、小磯國昭、南次郎、荒木貞夫、林銑十郎、阿部信行、米内光政、近衛文麿、廣田弘毅、平沼騏一郎、若槻禮次郎、岡田啓介、鈴木貫太郎、東久邇宮稔彦王、朝香宮鳩彦王、竹田宮恒德王、北白川宮永久王、賀陽宮恒憲王、梨本宮守正王、山階宮武彦王、李王垠、李鍵公、閑院宮春仁王、久邇宮邦彦王、朝香宮鳩彦王、東久邇宮稔彦王、竹田宮恒德王、北白川宮永久王、賀陽宮恒憲王、梨本宮守正王、山階宮武彦王、李王垠、李鍵公

餘生を戰場に

酒向部隊長は、常に、「餘生を戰場に捧げる」と言つてゐた、隊長は、この言葉通り、餘生を戰場に捧げ、國民の一人一人として、誰もなし得ない、赤誠を以て、ここ新嘉坡の地に、護國の鬼と化し、永遠に、皇國の大發展、新秩序の建設の礎石となつたのである

隊長は、常に、「一人一殺」を叫び、「一人一殺」の精神を以て、敵陣に突入し、敵を殺すべく、部下を督戰してゐた、隊長の、この勇戰奮闘ぶりは、部下將兵の、感激の的であつた

隊長は、常に

新嘉坡攻略の意義
敵の陣營を逆包圍
米英戰略連絡線眞二つ

【東京發同盟】シンガポール攻略により英國は東亞より退却するの已むなきに至り、殊に印度洋に於ける相次ぐ敗北は英國の威信を失墜し、其の植民地の動搖は必至である。而して英國の背後は殆んど無防備に等しく、若し日本が印度洋に進出するならば英國は全く致命的打撃を受けるであらう。

一、シンガポール攻略は米英戰略の連絡線を眞二つに切斷されたことである。

一、米英帝國の極東に於ける陸海空軍及び軍需品の集積地たるシンガポールの喪失は、英國の極東に於ける軍事的、經濟的打撃は絶大なるものがある。

一、米英帝國間の連絡は英國にあり、英國の結合點乃至樞軸たるシンガポールであつたが、此のシンガポールの陷落は英國經濟、合體乃至は英國の極東に於ける一切の權益に重大なる影響を與へるであらう。即ち英國の帝國內に於ける相互の連絡は全く遮斷されたと同時に英國の極東に於ける一切の權益は全く喪失するに至るからである。

一、シンガポール攻略は米英兩國の相次ぐ敗戰と共に英國の威信を失墜し、從つて印度及び蘭印が獨立乃至は獨立に近い狀態に陷るの已むなきに至り、英國の植民地の動搖を誘發するの危險性が多分にある。

一、米英帝國間の連絡は英國にあり、英國の結合點乃至樞軸たるシンガポールの喪失は、英國の極東に於ける一切の權益に重大なる影響を與へるであらう。即ち英國の帝國內に於ける相互の連絡は全く遮斷されたと同時に英國の極東に於ける一切の權益は全く喪失するに至るからである。

一、シンガポール攻略は米英兩國の極東に於ける陸海空軍及び軍需品の集積地たるシンガポールの喪失は、英國の極東に於ける軍事的、經濟的打撃は絶大なるものがある。

一、米英帝國間の連絡は英國にあり、英國の結合點乃至樞軸たるシンガポールであつたが、此のシンガポールの陷落は英國經濟、合體乃至は